

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回 美幌町都市計画審議会
開 催 日 時	令和7年1月21日(火) 14時00分 開会 15時20分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場 第1会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 味噌一郎、橋本美典、中川寿一、宮田博行、高橋清、馬場博美、 稲垣淳一、宮崎奈津江、渡部敏行 【美幌町】 平野浩司
欠 席 者 氏 名	千葉正美、横山清美、大河原芳之
事務局職員職氏名	遠國建設部長、森口建設課長、廣田建築主幹、中村都市整備G主査
議 題	1 開会 2 町長挨拶 3 議案 第1号 会長の互選について 第2号 職務代理者の指名について 4 会議録署名委員の指名 5 協議事項 第1号 美幌町コンパクトなまちづくり計画(案)について 第2号 美幌町都市計画用途地域の変更(案)について 第3号 美幌町都市計画準防火地域の変更(案)について 第4号 美幌町都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更(案)について 6 その他 7 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	3名(報道機関)
資 料 の 名 称	・美幌町コンパクトなまちづくり計画(案) ・美幌町コンパクトなまちづくり計画(案)【概要版】 ・美幌町都市計画用途地域の変更(案) ・美幌町都市計画準防火地域の変更(案) ・美幌町都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更(案)
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
遠國部長	<u>1 開会</u> ・開会挨拶、委嘱状交付
平野町長	<u>2 町長挨拶</u> ・町長挨拶
事務局	<u>3 議案</u> ・議案第1号 会長の互選 司会 遠國建設部長 ・委員互選により、会長は味噌委員で決定
味噌会長	・会長挨拶 (町長退席) ・議案第2号 職務代理者の指名について
味噌会長	・会長指名により、職務代理者は橋本委員で決定 <u>4 会議録署名委員の指名</u> <u>5 協議事項</u> ・第1号 美幌町コンパクトなまちづくり計画（案）について (資料に基づき事務局より内容説明) (以下質疑応答)
稲垣委員	・町民説明会の説明資料は、概要版を活用されるのか。 ・特にどの部分を説明、ご理解いただきたいと考えるか。 (事務局回答) ・説明資料は、一昨年の町民説明会同様、概要版をもう少しわかりやすい内容で整理した資料を別途検討している。 ・将来のまちの地図を示すことが重要と考える。3つの拠点と居住誘導区域を示し、様々な施策を織り交ぜ、集約していく考えをお伝えしたい。その積み重ねにより、美幌町が住みやすい、住み続けたいまちへつながっていくものと考えている。
宮崎委員	・誘導施策のうち空き家の利活用について、移住体験住宅の整備に係る補助金は、農地に建てるような要件だったと思うが、本計画との整合・庁内における調整などはいかがか。

馬場委員	(事務局回答) ・移住体験住宅整備は、移住者が田舎暮らしを体験したいという点に加え、旅館業となる民泊施設として住宅の運用を考えたときに住居系の用途地域よりは、郊外部の空き家の利活用を優先する考えを持っているが、住宅リフォーム制度など持ち家対策は、ご意見のとおり、居住誘導区域内での整備支援を優先すべきと考える。 ・観光交流センターの整備イメージを改めてお聞きしたい。 ・集会・交流施設のうち、積極的に誘導を図る施設は何を想定しているか。 (事務局回答) ・広域幹線道路である国道が交差する利便性を活かすことは、令和5年度に実施した企業立地アンケートで、民間事業者からも交通量を意識した商圈と立地を重視していることに加えて、拠点整備にあたっては、官民連携した取り組みから、そういった視点をもって検討したいという趣旨になる。 ・中心拠点のうち、国道交差点付近に観光交流センターを誘導したいという趣旨となる。
委員一同	第2号 美幌町都市計画用途地域の変更（案）について 第3号 美幌町都市計画準防火地域の変更（案）について 意見なし
宮崎委員	第4号 美幌町都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更（案）について (資料に基づき事務局より内容説明) (以下質疑応答) ・稲美工業団地について、こういった業種の需要が高いのか。 (事務局回答) ・1次関連産業が中心。近隣市町からの農産物の集約と、JR輸送中心からトラック輸送を通じた釧路港への輸送へシフトしていることが主な要因と考える。網走港は、冬期間の流氷の兼ね合いで利用できないため、それら含めた当該地の優位性は高い。更に釧路港への短絡ルートとしては、国道243号であり、その沿線上にある当該地の優位性は高いものと思われる。
中川委員	・津別など複数農協で構成される広域連が、当該地に工場を集約する方向で進んでいることや、オホーツク管内の豆を集約する施設が出来るなど、今後更にこの地域が伸びるのではないかとという点は、今説明のあった通り。 (事務局回答) ・管内の全ての燃料は、釧路港から国道243号を通じて配送されていることや、農機具についても釧路港から国道243号を通じて、当該地などに配送されている状況。

